

## 地域農業と農家を元気にする 『藤島農産物元気食楽部』の設立 会員を4月19日から6月30日まで募集



『藤島農産物元気食楽部』の設立総会を開催（3/28藤島庁舎3階大会議室）

「地域農業と農家を元気にする」新しい取り組みが、藤島庁舎で始まりました。

『藤島農産物元気食楽部』の設立総会が3月28日、藤島庁舎3階大会議室で開かれ、活動をスタートしました。会員を4月19日から6月30日まで募集するとしています。

会費は個人3千円、団体5千円（10人未満）と1万円（10人以上）です。

### 地域挙げて取り組む

元気食楽部の目的は、「藤島地域の農業振興に、地域を挙げて取り組む組織」として、

- ・ 組む組織」として、農業生産の効率化
- ・ 農産物のブランド化を推進し、長期的に収入の増加を目指します。
- ・ そのために、品目の選定
- ・ 栽培技術の確立
- ・ 販売先との交流
- ・ 生産者のメリット
- ・ 一など総合的、継続的な取り組みを進めます。

### 5つの部会で構成

元気食楽部の組織体制は、5つの部会で構成します。

- ① 未来へのアグリ部会
- ② 大規模農業化が進展、スマート農業と園芸の新たな品目の検討。
- ※「スマート農業」とは、「ロボット技術やICT（情報通信技術）等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする新たな農業」のこと。

- ② 米部会
- ③ 枝豆部会

現在の24品種栽培を50品種に倍化し、

会員の連携や補助金等

活用で機械化を推進。

- ④ ねぎ部会
- ⑤ 加工部会

### 地域まちづくり未来事業の藤島庁舎版

設立総会では役員体制を決め、関係機関として山形大学農学部、庄内農業高等学校、県農業技術普及課、県水田農業試験場、土地改良区、市農業委員会、首都圏大学の支援を受けます。

この取り組みは、鶴岡市が今年度から本格実施する「地域まちづくり未来事業」の「人と環境にやさしい農業推進事業」の一環で、藤島農産物元気事業173万5千円、JA庄内たがわ藤島支所5万円の補助金を計上しています。

### 看菜花祭有感

青虫 蠢蠢住虚柯  
雨止風収化作蛾  
粉蝶翩翩飛水郭  
農夫 歡樂入名歌

### 菜花祭をみて感有り 城貞（藤の花）

青虫 蠢蠢として虚柯に住る  
雨止み風収まりて化して蛾に作る  
粉蝶 翩翩として水郭に飛ぶ  
農夫 歡樂して名歌に入る

青虫がうごめいて葉っぱを食へつくして、菜の花の幹にいます。

時がすぎて暖かくなり、雨がやみ風もおさまるのを待つて蛾になる。

紋白蝶はひらひらと水村をこびまわっている。

農民たちは菜の花まつりの見物で喜び楽しみ、宴席では有名な歌をうたっている。

青虫は蝶の幼虫。蠢蠢うごめくさま。数の多いさま。虚柯は葉のない枝。粉蝶は紋白蝶。翩翩ひらひらと飛ぶ。水郭は赤川、京田川、藤島川と三つの川が流れている三川の町。名歌は有名な歌。

### 藤島農産物元気食楽部 役員

No.	役職名	氏名	備考
1	会長	太田三千夫	
2	副会長	佐藤茂春	JA庄内たがわ藤島支所長
3	副会長	武田壮一	鶴岡市藤島庁舎支所長
4	監事	齋藤泰宏	
5	監事	佐久間憲生	
6	枝豆部会 部会長	押井喜一	
7	ねぎ部会 部会長	深井耕一	
8	地域農産物加工部会 部会長	押井秀勝	
9	地域農産物加工部会 副部会長	富樫菊子	シーダー代表
10	米部会 部会長	矢口 悟	
11	未来へのアグリ部会 部会長	井上貴利	
12	相談役	齋藤泰宏	兼務
13	相談役	相馬一廣	
14	アドバイザー	太田三千夫	兼務
15	アドバイザー	佐久間憲生	兼務
16	アドバイザー	田澤 繁	

No.	機関・団体 役職名	氏名	備考
1	JA庄内たがわ藤島支所 営農課課長	高橋 徹	事務局次長
2	藤島庁舎 産産建設課課長	成田 謙	事務局長
3	藤島庁舎 産産建設課エコタウン室 室長	高橋智也	
4	藤島庁舎 産産建設課 産産建設専門員	鈴木理恵	
5	藤島庁舎 産産建設課 鶴岡市地域まちづくり未来事業推進員	長南 敬	

## 新規学卒者の求職・求人・就職状況

卒業年月		H31年3月卒業生			H30年3月卒業生			対前年増減比率(%)
学校別		計	男	女	計	男	女	
高等学校	求職者数	479	303	176	518	328	190	▲7.5
	うち県内	357	216	141	375	234	141	▲4.8
	うち県外	122	87	35	143	94	49	▲14.7
	求人数(県内)	907			841			7.8
	就職内定者数	476	303	173	513	324	189	▲7.2
鶴岡高専	求職者数	98	84	14	105	88	17	▲6.7
	就職内定者数	98	84	14	104	87	17	▲5.8
大学	求職者数	116	62	54	127	55	72	▲8.7
	うち県内	14	6	8	24	8	16	▲41.7
	就職内定者数	116	62	54	123	52	71	▲5.7
	うち県内	14	6	8	23	8	15	▲39.1

## 新規学卒者の就職動向 県内就職は低水準 大学の存在が地元就職に結びついていない

新規学卒者の2月末の数字で、高校全体で今春は1455人卒業しましたが、就職を希望したのが479人で昨年比39人減でした。企業の求人数は逆に841人から907人と66人名増えています。就職内定者は476人で昨年比37人減、うち県内は354人で16人減、県外は122人で21人減となりました。高専は就職内定者が98人で6人減り、うち県内は23人で5人減りました。大学は就職内定者が116人で7人減り、うち県内は14人で9人減となっています。山大農学部卒業生

187人に占める鶴岡市内出身者は、わずか3人で2・1%です。出身地に戻る学生が多く、大学の存在が地元就職に結びついていない状況です。産業技術短期大学校庄内校(酒田市)は卒業生33人で、庄内地元進学率が91%で地元就職率が76%と高くなっています。鶴岡地区雇用対策協議会では、高専生や大生向けに企業説明会を開催し、人材確保に力を入れています。

## 世界の国々 ミャンマー(ビルマ)② アウンサンスーチーさんと自由ミャンマーへ 青山崇

国内外の民主化運動で、2011年軍政が民政移管し、2016年スーチーさんは憲法の規定で大統領にはなれなかった(軍部は、スーチーさんを大統領にさせないため「外国籍の家族がいると大統領になれない」と憲法を変えておいた)。しかし国民民主連盟党首、政府内では国家顧問として、事実上政権トップである。民族問題や政治問題改革への新しい一歩を踏み出した。

軍政の資金源になっていた二重為替制度廃止、厳しい検閲制度の廃止で多くの雑誌創刊、民間日刊紙の発行の自由(軍の新聞だけであった)、軍政下の亡命者の帰国など「閉ざされた国ビルマ」の扉が開き始めた。しかし問題が多く前途多難である。135民族もいる多民族問題、少数民族は独立・自治を求め抗争し内戦になる。軍部は武力による屈服を、スーチーさんは

対話での和解を求めている。

ロヒンギヤ問題がある。ミャンマー・タチレク少数民族に住むイスラム系少数民族ロヒンギヤが、仏教徒に迫害され難民となる。戦後日本政府は、戦時賠償や政府開発援助を軍事政権にした。

欧米諸国は人権抑圧していると援助しなかった。

来日したスーチーさんは、「軍事政権が長く続いたのは日本の援助」と厳しく指摘した。



たんけ、いっだけぞ

4月第2日曜日は、我が集落では朝6時から堰掃除のことになっていく。これは田んぼの水が流れてくる前の仕事だから、どこの集落も同じだろう。

▲原則・全戸参加で、昔から生活用水として利用していた村堰と、雨水排水用の堰の土揚げと空き缶やゴミ拾いが仕事。集落公民館前に集合して、町内会長の挨拶に担当部長から班毎の仕事が指示される。この結集状況を見て「上町の団結力が示された」とは、ある集落の女性のはなし。

▲俺は角スコ持参で村堰の土揚げ。人数が多いから一人10斗位が仕事の量だ。だから生き物を水に戻しながら土を揚げた。多いのが俺たちの通称びんのはし「カワニナ」という巻貝の一種。蛍の幼虫が

ミャンマーの立場に立つ国づくりに貢献すべきである。



写真・タチレクには少数民族の首長族であるカヤン族が住んでいる村があり、首に真鍮のリングをいくつもつけた女性たちがいる。

これを食べつて育つんだ。だから蛍がいるかも知れないが、そんなつもりで夜・外に出ないから判らない。

▲「びんのはし」と「どんじよ」は、常に目にするができるが、びつくりしたのは「たんけ」と「えび」がいたことである。正に子どもの時以来である。

▲「たんけ」と言っただけで、淡水に棲む貝と超える黒く大きなヤツがいたものだった。コイツにナントかいうタナゴが卵を産むと読んだことがある。タナゴも多かったものだ。

▲今回見たのは3cm程だから、どつかに大きいヤツがいるんだ。だからタナゴだっているんだ。期待が広がるネー。U字溝でのこと。生命力は素晴らしい。(石川)

